

第 29 回 北陸地方ダム等管理フォローアップ委員会 議事要旨

1. 日 時 : 平成 30 年 2 月 8 日 (木) 14:30～17:00
2. 場 所 : 一般財団法人 水源地環境センター 会議室
(東京都千代田区麹町 2-14-2 麹町 NK ビル)
3. 出席者 : 辻本委員、中田委員、原田委員、平林委員
4. 議 事

- (1) 手取川ダム定期報告書(案)について
- (2) 横川ダム定期報告書(案)について
- (3) 北陸地方ダム年次報告書(案)について

(1) 手取川ダム定期報告書（案）について

【総括】

平成24年度～平成28年度の調査結果の分析・評価をとりまとめた手取川ダムの定期報告書（案）について、審議された。

その結果、治水・利水について適切な効果を発揮していること、環境への影響等についても、各種環境指標の状況が概ね安定していることから、手取川ダムについては適切に管理運用されていることが確認され、定期報告書（案）については了承された。

なお、委員会の審議に際し、各委員より出された主な意見等は下記のとおりであり、これら意見等を定期報告書に反映することとされた。

1) 防災操作

- ・なし

2) 利水

- ・なし

3) 堆砂

- ・なし

4) 水質

- ・なし

5) 生物

- ・特定外来生物のオオクチバスについては、ダム湖で再生産されている可能性がある。

6) 水源地域動態

- ・ジオパークエリアと手取川ダムの位置関係、またジオパークと手取川ダムの関係がわかるようにすること。

(2) 横川ダム定期報告書（案）について

【総括】

平成24年度～平成28年度の調査結果の分析・評価をとりまとめた横川ダムの定期報告書（案）について、審議された。

その結果、治水・利水について適切な効果を発揮していること、環境への影響等についても、各種環境指標の状況に現状で問題ないことから、横川ダムについては適切に管理運用されていることが確認され、定期報告書（案）については了承された。

なお、委員会の審議に際し、各委員より出された主な意見等は下記のとおりであり、これら意見等を定期報告書に反映することとされた。

1) 防災操作

- ・なし

2) 利水

- ・なし

3) 堆砂

- ・なし

4) 水質

- ・現状で問題ないが、貯水池中層・下層の溶存酸素が低下しており、このような状況を把握している旨を記載しておくこと。
- ・植物プランクトンで優占種（黄色鞭毛藻）の動向について、今後注視すること。

5) 生物

- ・植物重要種については、植物園等を活用した生息域外保全についても、今後検討するとよい。
- ・ビオトープの維持・管理について検討する必要がある。

6) 水源地域動態

- ・地域の活動団体等の連携や、地域の活動をダム管理者がバックアップしている仕組みについても記載すること。

(3) 北陸地方ダム年次報告書(案)について

【総括】

大石ダム、手取川ダム、大町ダム、大川ダム、三国川ダム、宇奈月ダム、横川ダムの7ダムについて、平成28年度の管理・運用状況を取りまとめた北陸地方ダム年次報告書(案)について、報告された。

なお、委員会の審議に際し、各委員より出された主な意見等は下記のとおりであり、これら意見等を年次報告書に反映することとされた。

1) 防災操作

- ・なし

2) 利水

- ・なし

3) 堆砂

- ・なし

4) 水質

- ・環境基準達成状況については、平均値だけでなく、最小値・最大値も示せばよりわかりやすい。

5) 生物

- ・大川ダムにおけるアレチウリの植被率の減少については、台風による出水で水没したのか、流されたのか、確認しておくこと。

6) 水源地域動態

- ・ダム来場者数とダムカード配布数の関係がわかるようにすること。